

いいね!
プライベート

SAPIXサピックスにいちばん 身近な個別指導である PRIVATO(プライベート) その魅力をご紹介します。

第19弾 唯一のサピックス準拠の個別指導だからこそ、 「しない」ことがあります!

個別指導のプライベートにお通いいただいている方々は、程度の差はあるにせよ、何かしらの困りごとを抱えていらっしゃるケースが多いのではないかと思います。

- ・「4教科の得点バランスが悪いので苦手科目を補強したい」という方
 - ・「どの教科もがんばっているはずなのに、テストなどでなかなか結果が出せない」という方
 - ・「大人の目があるとがんばれるけれども、一人になるとどうしてもほかのことに気が向いてしまう」という方
- など、悩ましいポイントはまさに人それぞれです。もちろん、わたしたちを信頼してお通いくださっている方々に満足していただけるよう、精いっぱいお応えしていく所存ではありますが、なかにはお子さまのためになるとは思えないような「ご要望」をいただくケースもあります。そんなときは、たとえお客さまからのご要望であっても、お断りをさせていただくことがあります。たとえば、どんなケースでしょうか。実際にあった事例を紹介することで、わたしたちがお客さまと向き合ううえで大事にしているポイントについてご理解いただければうれしく思います。

ケース① 5年生男子(全教科)

「マンスリーテストで良い結果を出して、何とか上位コースを狙いたいの、マンスリーテストの直前対策をしてもらいたい」というケース

初めに確認しておかなくてはならないのは「マンスリーテスト対策」ということばの定義です。ここでいう「マンスリーテスト対策」とは、「通常のテキストナンバーの進行を無視して、テスト直前のタイミングでテスト範囲となっている部分だけを集中的に取り組むこと」を指すこととします。

もちろん、お子さま自身にとっても、保護者の皆さまにとっても、マンスリーテストの結果は大きな関心事でしょうし、上位コースへと上がることをモチベーションにされている方もそれなりにいらっしゃると思います。しかし、マンスリーテストの目的は、決められた範囲の学習内容をしっかり定着させることにあります。ですから「直前に」「集中的に」「暗記する」ような学習をして、仮に良い成績がとれたとしても、しばらくすると学習する前の状態へと戻ってしまい、学力として「定着している」とはいえない状況になってしまうと思われま。やはり、長い目で見れば<サピックスで学ぶ⇒自力で考える⇒プライベートで理解する>といった、同じようなリズムを守っていくことが安定した学力を育むことにつながっていきます。

ケース② 5年生女子(算数・夏期講習)

「とにかく算数が苦手なので、毎日3コマずつ算数の授業を受講したい」というケース

<苦手な教科の学習は家ではまったくやりたがらないので、プライベートでみっちり毎日鍛えてほしい>といったご要望は、特に夏期講習のときなどにいただくことがあります。苦手な教科だから、時間のあるタイミングで、徹底的に鍛えてほしい

という思いは伝わってくるのですが、結論からいえば、こうした学習で劇的に状況が改善するケースはほぼ見られません。

理由の一つは「やらされる側」の気持ちを考慮されていないという点です。「やらせる側」の大人としては「苦手なんだから、時間をかけてきっちりやりなさい」となるのですが、苦手なものはいたいの場合「嫌い」とほぼイコールですから、そんなものを長時間ずっとやらされて「よし、がんばるぞ!」とはなりません。うんざりしてかえって嫌いになってしまうことも大いにあります。

もう一つは、本人が「がんばれた」として、これだけ一つの教科に時間をかければ、自動的にほかの教科に割くべき学習時間を圧迫することになります。結果的に、一つの教科は成績が改善されたとしても、4教科総合では「逆効果」ということにもなりかねません。やはり、中学受験においては4教科総合得点で判断されることが多い点も踏まえ、バランスを常に考えておく必要があるでしょう。

ケース③ 4年生男子(算数)

新学年になったとき、少しでもサピックスのカリキュラムを先回りして、「余裕」をもっておきたいので、テキストナンバーの「先取り学習」を進めてほしいといったケース

こちらのシステムをきちんと説明できていない(もしくはご理解いただけていない)場合でのみ、起こりうることはあるのですが、もちろんこういったご要望にお応えすることはできません。そもそもサピックス自体が「復習主義」を柱にしているのは、授業を通じて初めて学ぶからこそ学習効果が大きくなるという理念に基づいていることです。

まれに低学年のうち他塾の教材などを使って「先取り学習」をされているお子さまを見かけますが、多くの場合、「アドバンテージをもっておくことで、常に安心してほしい」といった保護者の方の心理が働いているケースが多いようです。そうしたお子さまは、4年生くらいまでは上位の成績をとることがあっても、5年生に上がるころにはじりじりと成績が下がってしまう場合が少なくありません。「先取り学習」で得た知識があるがゆえに「自分はできるんだ」という意識が生まれ、それが油断を生じさせ、真摯に取り組む姿勢が見られなくなると、気がつけば成績の下降線をたどってしまうといったパターンです。

もちろん多少の個人差はあるものの、学年に応じた成長段階というものがあります。サピックスのカリキュラムでは、ふさわしいタイミングで学ぶべきポイントがきちんと配列されていますので、その都度、全力投球していくことが最善の方法だと思われま。

ケース④ 6年生男子(国語)

今回の授業での学習内容を事前に決めてあったものの、当日になって保護者の方が別のものをリクエストしてこられるようなケース

先日、こちらの誌面でもご紹介したように、プライベートには「授業リクエスト」という形でお客さまのご要望をお聞きするシステムがあるのですが、お子さまの学習に良い効果が期待できない場合はお断りをしています。

たとえば、直近で返却されたテストの成績報告書の偏差値や順位といった数字だけをご覧になって、一時的な感情(不安かもしれないし、怒りかもしれないが…)に任せてリクエストされるような場合です。

同じ設問で「失点」してしまったようなときでも、単純に条件を一つ見落としていた場合と、根本的な原理原則からの理解ができていなかった場合とでは、対処方法はまったく異なるため、まずは問題を振り返っての「自己分析」が必要になります。

また、担当講師は、お子さまの状況を踏まえて授業計画を立てていますし、そのための授業準備をしています。急な内容変更があった場合はどうしても十分な準備が確保できないことも考えられます。

やはり、ある程度「長い目で」お子さまを見守っていく姿勢が、確実な成長につながっていくと考えています。

個別指導のプライベートは、圧倒的な進学実績を誇るサピックス小学部の唯一の準拠塾です。これからもサピックス生たちの最高のパートナーであり続けられるよう日々努力を続けてまいります。日々の学習に関するお困りごとでも、受験に関するお悩みごとでも、お気軽にご相談ください。皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

個別指導事業本部
中野 英樹先生



お問い合わせ・お申し込み

プライベートについてのご相談・お問い合わせは、各教室までお気軽にお電話ください。

お近くの教室を探す▶



PRIVATO

www.privato-sapix.com

プライベート

検索



SAPIXのパーソナルコーチ
VERTICE
ヴァーティス

VERTICEお茶の水

80分完全1:1の個別指導

